

2006年5月15日

## 関西圏のマンション購入マインド大幅上昇！！

約6割が、マンション購入は“今が買い時”と回答

～長谷工アーベスト『顧客マインド調査』(2006年4月)より～

株式会社 長谷工アーベスト（本社：東京都港区、社長：安永 雄一郎）の関西支社では、関西圏で受託販売している分譲マンションのモデルルーム来訪者を対象として、『顧客マインド調査』を行っております。このほど行った4月調査（2006年4月19日～26日）では、アンケート取得開始（2002年2月）以来最も多い約60%のお客様が、今が『マンションの買い時』だと判断されていることがわかりました。その背景としては、「今後の地価やマンション価格が『上昇する』と予測される」ということが挙げられます。

### 【約60%のお客様が地価動向は『徐々に上昇すると思う』と回答】（グラフ①）

今回のアンケートより、初めて設問した『今後地価はどうなると思いますか』に対し、『徐々に上昇すると思う』と回答された方は58%。6割近いお客様が、今後の地価動向は『上昇する』と予測されていることがわかりました。

『上昇する』と回答した理由としては、2006年3月に発表された、“公示地価上昇（関西圏では商業地の上昇）の影響”や、“都心部の上昇”を挙げる声が見られます。

### 【マンション価格動向は『徐々に上昇すると思う』が大幅に増加】（グラフ②）

『マンションの価格動向』については、『徐々に上昇すると思う』と回答された方が、大幅に増加し、62%（前回調査時より14Pアップ）。こちらも、約6割のお客様が『上昇』と予測されています。

その背景としては、“地価の上昇”に加え、“原油価格の上昇により、資材費が上昇”、“一連の耐震強度偽装問題によりマンションの質が良くなり、価格も上昇”といったことなどが挙げられました。

### 【マンションの『買い時感』は約60%とアンケート取得開始以来の最高数値を記録】（グラフ③）

『今はマンションの買い時だと思いますか』という設問に対し、『買い時だと思います』と回答された方は58%。2006年1月時点の調査より9Pアップの大幅増で、アンケート調査を開始した2002年2月以来、最も高い数値を記録しました。

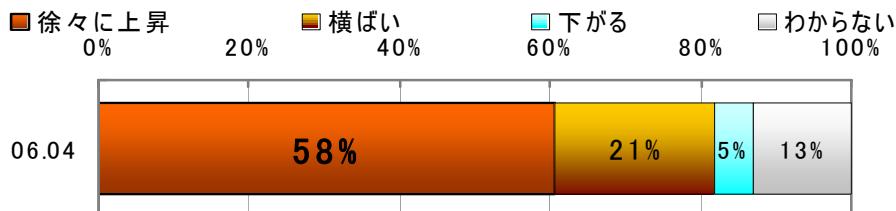
『買い時だと思います』理由を見ると、『地価動向』『マンション価格動向』の予測に加え、今後のローン金利の上昇や、消費税の上昇懸念といったマインドがうかがえます。

## 【長谷工アーベスト 顧客マインド調査】

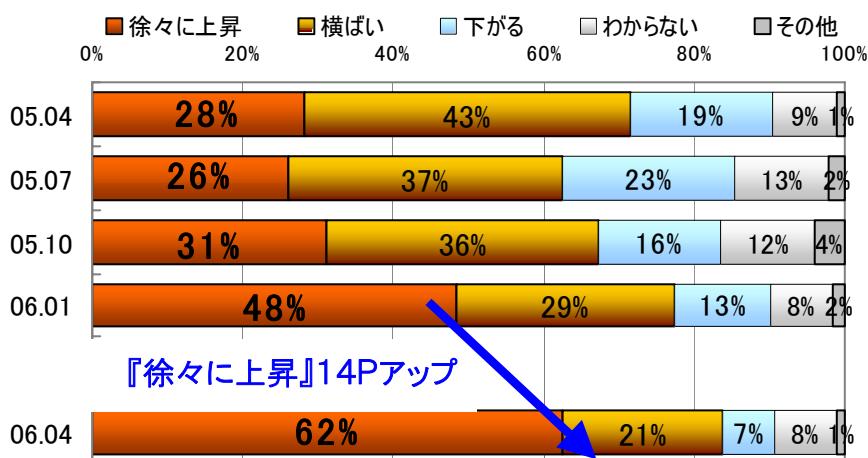
### 【調査概要】

調査対象	長谷工アーベスト提携物件来場者（2005年4月～2006年3月）
調査手法	郵送方式
調査実施日	2006年4月19日～4月26日
有効回答数	384件

### ■ 地価はこの先どうなると予測されますか？（グラフ①）



### ■ マンション価格はこの先どうなると予測されますか？（グラフ②）



### ■ 市況的に『今』はマンションの買い時だと思われますか？（グラフ③）

